



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年10月27日

上場会社名 富士変速機株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 6295 URL <http://www.fujihensokuki.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)河嶋 謙一  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)大富 裕哉 (TEL)058(271)6521  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月1日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	4,767	2.7	227	35.3	250	37.1	163	45.6
28年12月期第3四半期	4,641	△0.1	167	87.5	182	67.6	112	90.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	9.66	—
28年12月期第3四半期	6.63	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	11,196	9,648	86.2
28年12月期	11,141	9,604	86.2

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 9,648百万円 28年12月期 9,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
29年12月期	—	3.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	6.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有  
 29年12月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 3円00銭 記念配当 3円00銭  
 配当予想の修正については、本日(平成29年10月27日)公表しました「平成29年12月期(第54期)配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成29年12月期の業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	6.6	260	1.6	280	0.4	170	4.9	10.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年12月期3Q	17,955,000株	28年12月期	17,955,000株
29年12月期3Q	1,039,390株	28年12月期	1,039,390株
29年12月期3Q	16,915,610株	28年12月期3Q	16,915,669株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に持ち直しの動きが見られるとともに、半導体関連産業等需要の下支えに加え一般工作機械投資が堅調に推移したことで、設備投資動向に改善の動きがあるなど景気の緩やかな回復が見られました。しかしながら、地政学的リスクや新興国における景気減速懸念等により依然として先行不透明な経済環境で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、生産体制の強化・見直しを継続的に取り組むとともに、顧客志向に立った製品開発、差別化した提案営業を推進し、いかなる事業環境の変化にも対応すべく更なる原価低減活動と生産性の向上に努めてまいりました。

減速機関連事業では、保有技術を活かした製品開発に取り組むとともに、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、顧客満足度の向上と受注獲得に努めてまいりました。

駐車場装置関連事業では、マーケティングに基づく戦略的営業展開を図るとともに、コスト競争力の強化を推進し収益改善に努めてまいりました。

室内外装品関連事業では、生産・品質管理体制の強化を図り、受注獲得と安定した収益確保に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,767百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は227百万円(前年同期比35.3%増)、経常利益は250百万円(前年同期比37.1%増)、四半期純利益は163百万円(前年同期比45.6%増)となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

#### [減速機関連事業]

設備投資動向が堅調に推移する中、当社が得意とする特殊減速機関連分野において、工場生産設備自動化等のニーズの下支えにより受注が堅調に推移したことで売上高は2,428百万円(前年同期比9.2%増)となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動等の取り組みおよび特殊製品や汎用製品が伸長したことで94百万円(前年同期比134.0%増)となりました。

#### [駐車場装置関連事業]

工期変更案件の進捗ならびに、新築案件の需要が堅調に推移したことにより売上高は2,076百万円(前年同期比2.8%増)となりました。営業利益につきましては、資材価格等の上昇傾向が続くなか、継続的な選別受注や原価低減活動等の取り組みが奏功し146百万円(前年同期比30.1%増)となりました。

#### [室内外装品関連事業]

品質管理の徹底と性能の向上に努めましたが、競争激化等により受注が減少し、売上高は262百万円(前年同期比34.2%減)となりました。営業損益につきましては、コスト低減活動等による収益確保に努めましたが、受注の減少を補いきれず14百万円の損失(前年同期は14百万円の利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### [資産]

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ54百万円増加し11,196百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が297百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が213百万円、仕掛品が48百万円、未成工事支出金が45百万円増加したことなどにより、前事業年度末に比べ24百万円増加し7,737百万円となりました。

固定資産は、保有株式の株価下落により投資有価証券が25百万円、減価償却等により無形固定資産が14百万円減少した一方で、前払年金費用を含む投資その他の資産のその他の項目が35百万円、固定資産の取得等により有形固定資産が34百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ29百万円増加し3,458百万円となりました。

[負債]

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ10百万円増加し1,547百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が132百万円増加した一方で、未払金を含むその他の項目が165百万円減少したことなどにより、前事業年度末に比べ11百万円減少し1,334百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債の減少等によりその他の項目が25百万円減少した一方で、退職給付引当金が43百万円増加したことなどにより、前事業年度末に比べ22百万円増加し213百万円となりました。

[純資産]

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ43百万円増加し9,648百万円となりました。

これはその他有価証券評価差額金が18百万円減少した一方で、利益剰余金が61百万円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末と同率の86.2%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復していくことが期待されますが、依然として海外経済の不確実性など、景気を下押しするリスクが存在し、経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われまます。

これらの状況を踏まえ、平成29年12月期の業績予想につきましては、現時点では平成29年2月6日に公表しました予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,279,546	3,981,800
受取手形及び売掛金	1,971,213	2,185,004
製品	38,506	66,486
仕掛品	507,229	555,892
未成工事支出金	105,363	151,269
原材料及び貯蔵品	421,090	425,771
その他	396,805	378,907
貸倒引当金	△6,840	△7,400
流動資産合計	7,712,916	7,737,732
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,329,692	2,343,717
減価償却累計額	△1,750,714	△1,781,564
建物(純額)	578,978	562,153
機械及び装置	2,322,395	2,350,017
減価償却累計額	△1,979,539	△2,013,949
機械及び装置(純額)	342,856	336,067
土地	1,604,963	1,604,963
建設仮勘定	15,252	73,000
その他	990,752	997,399
減価償却累計額	△921,556	△928,101
その他(純額)	69,195	69,297
有形固定資産合計	2,611,245	2,645,482
無形固定資産	48,993	34,706
投資その他の資産		
投資有価証券	561,558	535,856
その他	206,856	242,263
投資その他の資産合計	768,414	778,120
固定資産合計	3,428,653	3,458,309
資産合計	11,141,569	11,196,041

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	841,538	973,961
未払法人税等	83,411	69,982
工事損失引当金	3,425	-
その他の引当金	48,662	87,281
その他	368,716	202,946
流動負債合計	1,345,752	1,334,171
固定負債		
退職給付引当金	119,888	162,949
役員退職慰労引当金	23,030	27,780
その他	48,357	22,740
固定負債合計	191,276	213,470
負債合計	1,537,029	1,547,641
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,507,500	2,507,500
資本剰余金	3,896,954	3,896,954
利益剰余金	3,315,522	3,377,394
自己株式	△197,845	△197,845
株主資本合計	9,522,131	9,584,003
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	82,408	64,396
評価・換算差額等合計	82,408	64,396
純資産合計	9,604,540	9,648,399
負債純資産合計	11,141,569	11,196,041

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,641,468	4,767,438
売上原価	3,820,404	3,853,691
売上総利益	821,063	913,746
販売費及び一般管理費	653,202	686,649
営業利益	167,860	227,096
営業外収益		
受取利息	981	469
受取配当金	7,431	4,931
保険配当金	4,197	2,049
補助金収入	-	5,341
その他	6,860	15,493
営業外収益合計	19,471	28,285
営業外費用		
売上割引	3,909	4,419
その他	733	586
営業外費用合計	4,642	5,006
経常利益	182,689	250,376
特別利益		
固定資産売却益	18	359
特別利益合計	18	359
特別損失		
固定資産売却損	125	-
固定資産除却損	1,231	458
特別損失合計	1,357	458
税引前四半期純利益	181,351	250,277
法人税、住民税及び事業税	60,988	89,996
法人税等調整額	8,136	△3,083
法人税等合計	69,125	86,912
四半期純利益	112,226	163,365

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,222,658	2,019,637	399,171	4,641,468	—	4,641,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53,485	—	—	53,485	△53,485	—
計	2,276,144	2,019,637	399,171	4,694,953	△53,485	4,641,468
セグメント利益	40,265	112,985	14,609	167,860	—	167,860

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,428,212	2,076,382	262,843	4,767,438	—	4,767,438
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70,170	—	—	70,170	△70,170	—
計	2,498,382	2,076,382	262,843	4,837,608	△70,170	4,767,438
セグメント利益又は損失(△)	94,226	146,982	△14,113	227,096	—	227,096

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。